

【日本企業の広報】

国際産業見本市へのジャパン・パビリオン出展にかかる協力

開催日: 令和4年10月5～7日

場所: グアナファト州レオン市ポリフォルム

イベント名: インダストリアル・トランスフォーメーション・メキシコ (ITM) 2022

主催: ハノーバー・メッセ・メキシコ

協力: JETRO (国別ブースを出展したのは日本のみ)

【概要】

- ITMはドイツ・メッセが世界5か所において実施する国際産業見本市のうちの一つで、インダストリー4.0を推進するラ米最大級の産業見本市。2019年に第一回、2020年、2021年にそれぞれ第二回、第三回目が開催され、2022年が第四回目となった。ITM2022は、AI・マシン・ラーニング、循環経済、脱炭素、ロジスティクス4.0が重点テーマ。日本企業は11社が出展した（8社がJETRO企画のジャパン・パビリオンに出展）。
- 当館は、ジャパン・パビリオン広報の観点から、事前及び会期中のJETROメキシコ所長の新聞やテレビのインタビューのアレンジを行った。
- また、ジャパン・パビリオン出展企業間でのネットワーキング・レセプションを主催した。

【結果】

- JETROがジャパン・パビリオンを企画し、日本企業の出展を支援。
- 開会式後に行われたVIPの会場視察では、ロドリゲス・グアナファト州知事一行もジャパン・パビリオンに立ち寄って日本企業のプレゼンスを感じると共に、各社の展示を紹介することができた。
- 出展企業からは、「来場者の表情や感触を肌で感じる事ができ、バイヤーに提案型の参加ができた」、「ジャパン・パビリオンを通じての出展でなかったら、現地メディアの取材をこれほどまでに受けることはなかっただろう。ブランディング面の費用対効果は高い」、「商機はあると感じた。墨進出を具体的に検討したい」との声があった。
- 墨企業とジャパン・パビリオン出展の日本企業が、協業に向けた商談を開始、マッチングが実現した。

在レオン総領事館



グアナファト州知事のブース視察



ジャパン・パビリオン視察